

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	地場産品振興対策事業		担当部署	経済建設部 商工政策課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	伝統的工芸品産業の振興に関する法律及び同法律施行規則	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="17"/> 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期
(小項目)		産業			
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化			
基本事業	1	地場産業の育成・振興			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 国の伝統的工芸品に指定された大谷焼。 その他本市が誇る製塩業・製菓業・足袋製造業・アパレル業・粘土瓦製造業・酒醸造業、加工品製造業(わかめ加工)等の地場産品。														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	大谷焼をはじめとする本市の地場産品の販路を拡大し、各事業所の知名度や売り上げの向上、それに伴う雇用の創出を図るとともに、なんとブランドの保護に努める。														
事業計画	30年度に何を計画していたか	・市内外で開催される地場産品をPRするためのイベント等への参加及び開催の支援。 ・鳴門わかめのブランドの保護のため、わかめの同位体検査の実施。 ・販路開拓のための助成。 ・「大谷焼きの里」の案内標識設置。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・地場産品PRイベントへの出展、支援回数</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位	・地場産品PRイベントへの出展、支援回数	4	4	4	4	4	件
指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位										
・地場産品PRイベントへの出展、支援回数	4	4	4	4	4	件										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	・市内の地場産品PRイベントを後援した。(「大谷焼の里スプリングフェスタ」、「大谷焼まつり」等) ・農林水産課と共同で、大阪・京都で鳴門の地場産品をセールスし、市内で農水産物フェアを開催した。 ・鳴門市うずしお観光協会との連携により、香川・徳島県人会や桐生市の物産展で地場産品をPRした。 ・鳴門わかめの地域ブランドを保護するため、わかめの同位体検査を実施した。 ・販路開拓のため、事業者が出展する展示会の費用の一部を助成した。 ・「大谷焼きの里」の案内標識を国道11号線に設置した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標	1						
活動指標	2						
成果指標	・地場産品PRイベントへの出展、支援回数	10	9	-	-	-	件
成果指標	目標達成率(実績/目標)		225.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	0	0	0	3,905	3,905
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	3,905	3,905
		決算額	0	0	0	0	2,492	2,492
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)		総人件費		総事業費	
		0.4	0.0		2,928		5,420	

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	3,217	2,492	1,795	1,795	1,795
	うち一般財源	2,217	2,492	1,795	1,795	1,795
	人件費	2,894	2,928	2,928	2,928	2,928
	総事業費	6,111	5,420	4,723	4,723	4,723

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		東京都、大阪府、京都府などの人口の多い地域でPRイベントを行い、地場産品の認知度を高めた。
	効率性	B:概ね効率的だった		大谷焼陶業協会を始めとした、市内外の関連団体と連携することにより、概ね効率的に事業を実施した。
②成果に対する評価	指標名	・地場産品PRイベントへの出展、支援回数		目標を超える件数のPRイベントを開催し、又は支援することができた。その内容も、伝統的工芸品、物産、農産物といった地場産品をPRできた。
	目標	4	件	
	実績	9	件	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		PRイベントの効果が不明であるため、効果測定の手法を検討する必要がある。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市内外の関連団体との連携による地場産品のPRを行っている一方で、市が実施する販路開拓支援制度の利用は減少している。これは、地場産品を取り扱う地元企業のマインドが、販路開拓に積極的でないことが要因であると考えられる。そこで、販路開拓支援制度を周知して、地元企業に販路開拓をしてもらうように促していくことで、PR活動の効果を高める。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外で開催される地場産品をPRするためのイベント等への参加及び開催の支援。 ・鳴門わかめのブランドの保護のため、わかめの同位体検査の実施。 ・販路開拓のための制度の周知及び助成・補助。 			
	R2年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。			